

2022年2月27日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

知りたい病気の療養生活に関する図書を的確に検索できる 「病の体験記サーチ」を運用開始

～利用者の情報ニーズに寄り添った項目を盛り込み選択の幅を広げるシステムを開発～

【概要】

奈良先端科学技術大学院大学（学長：塩崎 一裕）先端科学技術研究科 情報科学領域 ソーシャル・コンピューティング研究室（荒牧 英治教授）は、2月27日から、患者の療養生活の支えになる闘病記などの図書をインターネットで容易に検索（無料）できる「病の体験記サーチ」（<https://yamai-taikenki.naist.jp>）の運用を開始します。利用者が読みたい内容の図書を的確に探し当てられるように、検索項目を書名や疾患名だけでなく、執筆者本人の治療の状況など関連情報からも調べられるシステムを開発しました。

【解説】

「病の体験記サーチ」は、患者が病の治療を通じて体得した経験知や療養生活の工夫などを執筆した闘病記をはじめ関連図書の探し易さを支援するシステムです。書名や疾患名から検索する従来の方法に加えて、利用者が的確に目的の図書を探し出せるように、執筆者の生活状況など背景の情報、治療の経過・結果といった項目からも検索できるようにしました。

また、このシステムで紹介する図書のラインナップを拡大するため、「心に残った一冊アンケート」を行い、病と向き合う際に心の支えとなった本を広く募集する企画も定期的に開催します。



【背景と目的】

病の体験記は、同じ病の当事者が著者の生き様を通じて勇気づけられたり、経験のない病について他者の体験をもとに学んだりする機会を提供してきました。ただ、個々人の体験記は、書名から何の病気に関する本なのかを知ることが容易とは限らないうえ、さまざまな表現のパターンで執筆されているため、目的に適った図書を探すときに病名だけの検索では不十分です。病と向き合う生活の中で直面する、治療・投薬の副作用、家族との関係、職場での折り合いといった多岐にわたる出来事に関連する検索項目が設けられれば便利ですが、一般的な図書館情報学の分類や索引の作成手順では困難であることが知られています。

そこで、ソーシャル・コンピューティング研究室では、闘病記などの検索をめぐる過去の人的取り組みを参考にしつつ、情報技術を活用したプラットフォーム「病の体験記サーチ」を開発しました。この運用を通じて、利用者が目的の図書を探す行動の分析と、その行動の支援を持続的に両立させるシステムの構築をめざしています。

さらに、病と向き合う経験を持った方々から心の支えになった本を広く募集する「心に残った一冊アンケート」を定期的実施し、応募図書をカテゴリ（「今」を大切に、聴いて読める、感覚を味わう、など）に分けて応募者の紹介文と共に閲覧可能にすることで、能動的検索に対して相補的な役割を果たす偶発的な図書遭遇の機会も提供します。

【今後の展開】

継続的に「心に残った一冊アンケート」を実施し、応募図書の紹介ページを更新するとともに、順次システムに取り入れて検索可能にします。また、利用情報を踏まえた継続的なシステムの改修を行います。中長期的には、利用者との対話に基づいて病の体験記探しを支援する新規インタフェースを開発します。

【用語解説】

「病の体験記」：病とは必ずしも闘うだけの対象ではないとの考え方も尊重し、本システムでは、病の個人的体験を綴った図書の通称である「闘病記」を含め、療養生活全般に関わる「体験記」を検索対象にしています。

【お問い合わせ先】

<研究に関すること>

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域

ソーシャル・コンピューティング研究室

TEL : 0743-72-5250 E-mail : tobyoki-support[at]is.naist.jp

研究室紹介ホームページ : <https://sociocom.naist.jp/>

<報道に関すること>

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

TEL : 0743-72-5026/5063 FAX : 0743-72-5011 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp